

Title	医薬情報担当者の営業成績と職務満足への傾性的アプローチ
Sub Title	
Author	大内健(Oouchi, Ken) 渡辺直登
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1998
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1998年度経営学 第1413号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001998-1413

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	渡辺 研究会	学籍番号	89728148	氏名	大内 健
(論文題名)					
医薬情報担当者の営業成績と職務満足への傾性的アプローチ					
(内容の要旨)					
<p>本研究は、医薬品産業における環境変化のなか、製薬企業は、より効率的な販売促進機能を充実させる必要があるという問題意識のもとに、医薬情報担当者の営業成績ならびに職務満足に影響を及ぼす要因について、個人の持つ傾性(disposition)に注目し、その関係を明らかにしようとしたものである。</p> <p>分析の結果として、営業成績のすべてが傾性で説明できるわけではなく、個人要因への依存が高いと考えられるような製品群や突出した成績を上げた者を抽出した場合には、傾性のなかでも特に遺伝性の気質との関連の強さが示唆された。</p> <p>職務満足に関しては、総合的職務満足感の下位次元として職務そのものに関連する内在的職務満足と職務の周辺環境に関連する外在的職務満足の2次元に分類され、総合的職務満足感および内在的職務満足は傾性との関連があり、外在的職務満足は傾性には影響されないということがわかった。そして、職務満足についても、遺伝により決定される気質が大きな説明力をもつということが明らかになった。</p> <p>このような分析結果をもとに、医薬情報担当者の人事管理施策、特に採用段階での効率的な人材の選抜に関しての提言を行っている。</p>					